

教科名	美術	週時間数	1	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	美術2・3上, 美術2・3下 (光村図書) 美術資料 (秀学社)				

指導の重点	表現および鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かにかかわる資質・能力を育成することを目指す。		
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していく態度を養う。 		
授業の進め方	作品の制作課題を理解し、資料や材料の収集を行い、アイディアスケッチで作品の構想を練る。初発の発想のみでなく、制作の全課程で改善を加えながら、自分の目標や表現意図にあったものに仕上げたい。各クラスで作品発表会を行い生徒作品を鑑賞する。		
定期考査	出題方針	授業中に学習、制作した内容、美術の歴史を中心に出题する。	
	範囲(予定)	各学期期末	授業で学習した内容
学習方法 (アドバイス等)	授業に意欲的、積極的に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> チャイム着席、作業の準備、後かたづけがしっかりできるようにする。 提出物は期日を守って必ず提出する。 私語は慎み、根気よく制作に集中する。 各自の制作に必要な資料や材料を準備し、制作に生かすことができるようにする。 		

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 制作途中の作品 完成作品 活動の様子 定期テスト
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め見方や感じ方を深めている。 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化の良さや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート アイディアスケッチ 制作途中の作品 完成作品 鑑賞 定期テスト
	③主体的に学習に取り組む体動	<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 活動の様子 制作途中の作品 完成作品 鑑賞 定期テスト

年間授業計画書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4 5 6 7	抽象表現	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを絵画で表す ・心を立体で表す 	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形を工夫し、自分の気持ちを表す ・色や形を工夫し、心を立体に表現する
2	9 10 11 12	鑑賞 理想の部屋 を考えよう 鑑賞 色の学習 水彩の基礎 技法 構想画	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品の鑑賞及 ・一点透視を使って部屋の構成を考える ・色の感情、配色の工夫について理解する ・モダンテクニック ・完成予想図の作成 ・モダンテクニックなど学んだ技法を使って、感性豊かな作品を制作する ・ワークシートの記入 ・作品発表及び鑑賞 	1 7 1 2 2 5	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメートの作品を鑑賞し、発想のよさや構成の美しさを感じ取り、評価カードに記入する ・透視図法を理解、活用して、自由な発想で部屋を構成する ・クラスメートの作品を鑑賞し、発想のよさや構成の美しさを感じ取り、評価カードに記入する ・色について理解を深める ・水彩の基礎的技法を身に付ける ・混色、重色の表現ができるようにする ・意図に応じ、材料や用具を生かして表現する ・テーマの決定と資料収集 ・自分のイメージにあった画面構成 及び着彩ができる ・技法や材料などを工夫して、制作することができる
3	1 2 3	鑑賞		4 1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品について、心情や意図、 創意工夫について発表する ・生徒作品に関心を持ち、多様な表現のよさや美しさ、楽しさを味わう

* 授業の制作進度によっては、内容が変更になる場合もあります。